

だいご 大子

議会だより

目次

令和5年第1回定例会	2~8
予算・決算委員会	8~9
議員の活動報告します	10~14
あん議会の質問は今?!	15
一般質問	16~23
「わくわくわたしの夢」	24



「だいご」愛に年の差は関係はありません。

~大子清流高校生と文教厚生委員会との意見交換会~ (P12)

令和5年第1回定例会

日本一幸せなDAIGOづくりに 108億円（令和5年度一般会計当初予算）

令和5年第1回定例会が3月2日から3月10日までの9日間の会期で開催されました。令和5年度一般会計予算などの町長提出議案が31件、議員提出議案3件が審議され、全会一致で原案どおり可決・同意されました。

一般質問には、7人の議員が登壇し、町政に対しての質問、答弁が展開されました。

また、3月9日付けで金澤真人議長が議長職を辞任したため、3月10日に正副議長の改選を行いました。指名推薦の結果、第39代議長に菊池靖一議員、第35代副議長に齋藤忠一議員が就任されました。

【第39代議長就任あいさつ】



菊池靖一 議長

先月の3月定例会において、第39代議長に就任いたしました。議会を束ねる長の責任は極めて重大であり、身の引き締まる思いです。

大子町では、令和元年の災害以降、庁舎移転や防災道の駅を含めたまちなかビジョン計画など大きな事業が進んでいます。昨年は新庁舎が完成し、今年度内には衛生センターも運用が開始され、残された事業もこれから具体的に動き出していきます。

少子化、過疎化による若者の減少は大きな課題となっており、このような現状においては議会の果たす役割と責務も一層重要なものとなっています。皆様にとってより身近で開かれた議会を目指し、持続可能なまちづくりのため、執行部とも連携して町政発展に精一杯努めて参ります。

町民の皆様方には、今後とも町議会に對しましてご理解とご協力をお願いいたします。

【第35代副議長就任あいさつ】



齋藤忠一 副議長

現在、大子町では、令和元年東日本台風の災害以来、

災害に強い、安心安全な町づくりを進めております。これらはすべて、国や県の手厚い支援により行われており、今までに新しい役場庁舎が完成し、今後、衛生センターの開設や、松沼橋の架け替えなどが予定されております。更には、道の駅奥久慈だいが国の防災道の駅に指定され、今後、旧役場庁舎解体、その後、新たな防災拠点として整備が予定されております。

これらが大子町のチャンスと捉え、確実に前に進めなければなりません。大子町議会としても、今後、それらをしっかりと見極め、町づくりに活かしたいと思っております。

その様な中、任期1年の改選となりましたが、私も、議員全員の推薦のもと、今までの経験を活かし議長を補佐するとともに、大子町が抱える様々な課題に、議会一丸となり取り組んでまいりますので宜しくお願いします。

令和5年度当初予算5つのポイント

《基本方針》

第6次大子町総合計画の4年目（最終年度）として、第6次大子町総合計画実施計画を推進してきた中で得られた課題や、周辺環境の変化に対応する必要があります。その上で「魅力あるストーリーで新しいまちの景色を創り未来へつなぐ DAIGO」の実現に向け、重点施策の積極的な展開を図ります。

主な新規事業などは次のとおりです。

ポイント1



○誰もが安心・安全に暮らせる思いやりに満ちたまちづくり

・農道整備工事	628万円
・林道開設改良事業	520万円
・中心市街地排水処理施設実施設計業務	3760万円
・公共下水道事業計画（雨水）策定業務	1200万円
・大子町公営住宅等長寿命化計画策定業務	534万円
・立地適正化計画策定業務	528万円
・消防団員出動報酬	641万円
・地域防災計画改定業務	420万円

ポイント2



○未来を担う心豊かな人を育むまちづくり

・幼稚園テラス屋根修繕・鉄骨塗装・トイレ改修工事	315万円
・中高連携（清流高校魅力化）事業	3066万円
・大子清流高校英語技能検定試験等補助金	34万円
・小学校英語検定試験	76万円
・公民館及びコミュニティセンター各所工事	489万円
・出産・子育て応援給付金	525万円
・電子黒板ミライタッチ購入費	750万円

ポイント3



○元気、にぎわい、活力ある産業を創造するまちづくり

・森林環境譲与税活用事業（森林整備等）	9570万円
・森林環境譲与税活用事業（林道整備等）	1355万円
・ふるさとものづくり支援事業補助金	320万円
・移住相談センター業務	295万円
・経済産業省関東経済産業局との連携事業（都市への企業交流）	277万円
・大子清流高校と連携した特産農産物等創出事業	190万円

ポイント4



○地域の資源を紡ぎ町のストーリーとして発信するまちづくり

・観光交流施設工事設計業務（旧ゲームセンター跡地）	3500万円
・大子町営研修センター研修棟改修事業	510万円
・木材を活用したやみぞサウナ場改修事業	3100万円
・古民家レストラン期間限定運営事業	400万円
・大子駅前 SL 塗装修繕工事	147万円
・屋外観光案内板更新業務	330万円
・道の駅北側敷地整備設計業務	710万円
・森林を活用したマウンテンバイクコース基本構想策定業務	140万円
・地域資源を活かした水郡線活性化事業	700万円

ポイント5



○交流と協働による、魅力あふれ、健全で持続可能なまちづくり

・交流拠点施設建設事業（防災道の駅関連）	4889万円
・第7次大子町総合計画策定支援業務	777万円
・イベント広場周辺設計業務	1840万円
・空き店舗等活用事業における店舗設計業務	430万円
・脱炭素ビジョン策定業務	959万円

令和5年度全体では新規事業90件、拡充事業6件、継続事業19件が実施されることになります。

令和5年度 一般会計・特別会計及び企業会計の予算

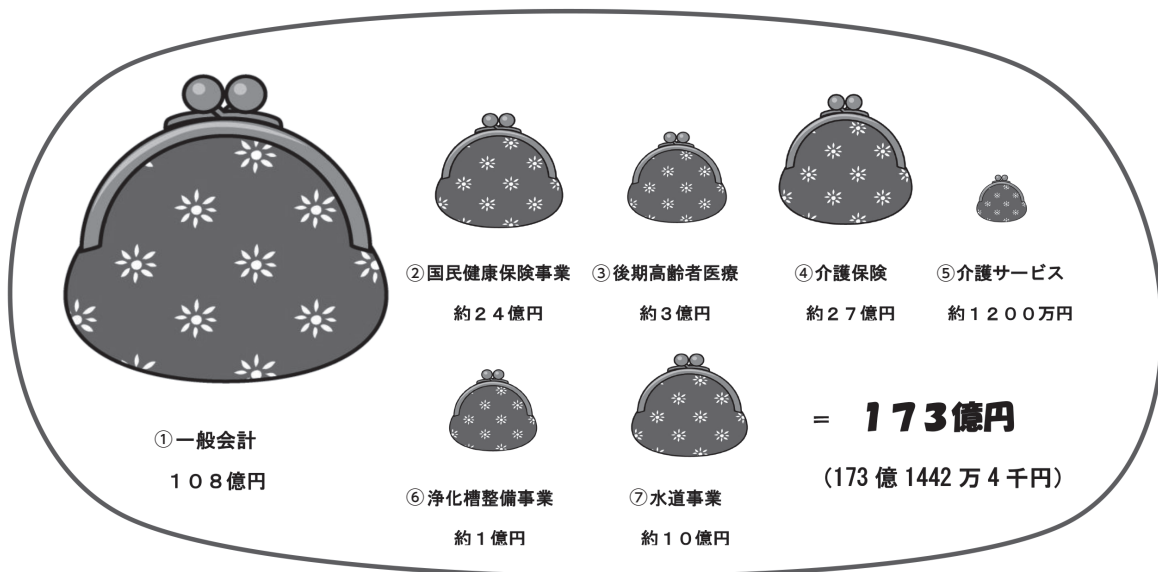
会計別	予算額	前年度比較（△減）
①一般会計	108億円	△10億8800万円
②国民健康保険事業特別会計	24億1661万4千円	1859万9千円
③後期高齢者医療特別会計	2億9108万円	1023万5千円
④介護保険特別会計	26億6200万円	△3880万4千円
⑤介護サービス事業特別会計	1243万7千円	△35万5千円
⑥浄化槽整備事業特別会計	1億3662万9千円	892万2千円
⑦水道事業会計	9億9566万4千円	7584万円
総額	173億1442万4千円	△10億1356万3千円

「一般会計（108億円）と特別会計及び企業会計」について



新しい年度（4月から翌年3月まで）が始まる前に、1年間でどれくらいの収入があるか、その収入をもとにして、どのような行政サービスを行うか計画します。その計画した事業の費用の総額を「当初予算」といいます。予算は目的ごとの7項目に分けられています。（7つの財布があって、そこからお金を支払うイメージです。）見出しの「令和5年度一般会計当初予算108億円」は、幸せなDAIGOづくりに必要な事業経費のほとんどがこの予算から支払うことになっていて、7つの中で一番大きな財布になっています。「一般会計」に対して、ほかの5つの項目を「特別会計」、水道事業の項目を「企業会計」といい、それぞれの目的に応じて支払われます。

7つのそれぞれの会計をたすと、大子町全体の予算額は約173億円になります。



令和4年度 一般会計補正予算(第8号)の主なもの

歳入	補正額	歳出	補正額
地方交付税	2億2942万円	新庁舎建設事業費	△1008万4千円
国庫支出金	△1180万円	障害福祉サービス給付費扶助	3867万9千円
県支出金	△908万1千円	町外搬出し尿汚泥等処理業務委託料	△1000万円
繰越金	△4億8338万9千円	農作物被害防止資材購入費補助金	△1130万円
町債	△730万円	空き家バンクリフォーム助成金	190万円
		スクールバス運行委託料	△1418万円

令和4年度 特別会計等の主な補正額

特別会計等	補正額	補正後の予算額
大子町介護保険特別会計（第3号）	△3073万1千円	26億9140万円
大子町介護サービス事業特別会計（第1号）	△58万1千円	1221万1千円
大子町浄化槽整備事業特別会計（第1号）	△3562万5千円	9208万2千円
大子町水道事業会計（第5号）〔収益的収入〕	2288万6千円	5億324万9千円
〃 〔収益的支出〕	389万8千円	4億9227万8千円
〃 〔資本的収入〕	△7911万2千円	1億5784万8千円
〃 〔資本的支出〕	△1億2269万4千円	3億4969万5千円

第1回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
選挙第1号	議長の選挙について	当選 菊池靖一 議員
選挙第2号	副議長の選挙について	当選 齋藤忠一 議員
	菊池靖一君の予算・決算委員の辞任の件	
	予算・決算委員の選任	
報告第1号	和解及び損害賠償の額の決定の専決処分の報告について	
議案第7号	大子町個人情報保護法施行条例	原案可決
議案第8号	大子町成年後見制度の利用を促進するための条例	原案可決
議案第9号	大子町公文書公開条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	大子町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	大子町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	大子町税条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	大子町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第14号	大子町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第15号	大子町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第16号	大子町過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決
議案第17号	町道路線の認定について	原案可決
議案第18号	大子東部堆肥生産プラントの指定管理者の指定について	原案可決
議案第19号	大子町副町長の選任について	原案同意
議案第20号	大子町教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第21号	大子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意
議案第22号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第23号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第24号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第25号	令和4年度大子町一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案第26号	令和4年度大子町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第27号	令和4年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第28号	令和4年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第29号	令和4年度大子町水道事業会計補正予算（第5号）	原案可決
委員会報告第1号	常任委員会審査報告（予算・決算委員会）	

議案第30号	令和5年度大子町一般会計予算	原案可決
議案第31号	令和5年度大子町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第32号	令和5年度大子町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第33号	令和5年度大子町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第34号	令和5年度大子町介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議案第35号	令和5年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算	原案可決
議案第36号	令和5年度大子町水道事業会計予算	原案可決
議員提出議案第1号	大子町議会の個人情報の保護に関する条例	原案可決
議員提出議案第2号	大子町議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
議員提出議案第3号	大子町議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決
選挙第3号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の一般選挙	当選 菊池 靖一 議員

■大子町副町長に赤津康明さん
を再任

大子町副町長の赤津康明さんが、令和5年3月31日で任期満了となるため、引き続き同氏を選任することに同意しました。任期は令和5年4月1日から令和9年3月31日までです。

■人権擁護委員候補者に麻生弘
さんを推薦

人権擁護委員の菊池明正さんが、令和5年6月30日で任期満了となるため、後任に麻生弘さんを候補者として推薦することに同意しました。任期は令和5年7月1日から令和8年6月30日までです。

■大子町教育委員会委員に安齊
光彦さんを再任

大子町教育委員会委員の安齊光彦さんが、令和5年3月31日で任期満了となるため、引き続き同氏を任命することに同意しました。任期は令和5年4月1日から令和9年3月31日までです。

■人権擁護委員候補者に根田里
美さんを推薦

人権擁護委員の根田里美さんが、令和5年6月30日で任期満了となるため、引き続き同氏を候補者として推薦することに同意しました。任期は令和5年7月1日から令和8年6月30日までです。

■大子町固定資産評価審査委員
会委員に石井良二さんを再任

大子町固定資産評価審査委員会委員の石井良二さんが、令和5年3月28日で任期満了となるため、引き続き同氏を選任することに同意しました。任期は令和5年3月29日から令和8年3月28日までです。

■人権擁護委員候補者に鈴木翼
さんを推薦

人権擁護委員の鈴木翼さんが、令和5年6月30日で任期満了となるため、引き続き同氏を候補者として推薦することに同意しました。任期は令和5年7月1日から令和8年6月30日までです。

指定管理者が指定されました。

指定管理者に管理を行わせる施設	指定管理者に指定する団体	指定する期間
所在地 大子町大字高柴 4313 番地 名称 大子東部堆肥生産プラント	所在地 大子町大字高柴 4313 番地 名称 大子東部堆肥生産プラント利用組合 代表者 組合長 森川 茂	令和5年 4月1日～ 令和10年 3月31日

予算・決算委員会

令和5年度当初予算（議案第30号から議案第36号まで）については、議長から予算・決算委員会に付託され、2日間にわたり審査を行いました。

審査終了後の採決の結果、すべての議案について原案どおり可決しました。

なお、今回の委員会では、各議員からの質疑に対して、担当課から次のような回答がありました。



予算・決算委員会での主な質疑（一部を抜粋して掲載しています）

【総務費】

議員： 旧役場跡地周辺にイベント広場や駐車場の整備を予定しているが、付近でイベントを開催する場合はこちらをイベント駐車場として利用できるの？

建設課： 完成後は防災道の駅の関係上、県が管理することになるので、今後協議を進めていきます。

議員： 自動車教習所における高齢者講習の送迎の概要とは？

生活環境課： 70歳以上の高齢者の運転免許更新時に義務付けられている高齢者講習を、大宮自動車教習所において受講される方を対象に、毎月第2水曜日、1日2往復、無料送迎車両を運行します。受講定員に合わせ、1往復当たり9名までの利用が可能です。

【農林水産業費】

議 員： イノシシ罨の免許取得に対する補助は今後どのようになっていくの？

農林課： 今後も継続し、鳥獣被害の防止を図っていきます。

【商工費】

議 員： 花火大会に関する予算が昨年よりも増えている理由は？

観光商工課： 花火大会は、堤防工事の影響で打ち上げ台などの環境整備に費用がかかるため高くなっています。秋のだいで美は、茨城デスティネーションキャンペーンに合わせて拡充を予定しています。

【土木費】

議 員： 中心市街地に整備される排水ポンプ施設の性能は？

総務課： 25メートルのプールを10分間で空っぽにできるくらいの排水能力のポンプを予定しています。

【消防費】

議 員： 防災士の養成は何人くらいを目標にしているの？

総務課： 当初の目標は180人くらいを見込んでいました。今年新たに50人が取得したので、現在は141人の方が登録をしています。

【教育費】

議 員： 電子黒板「ミライタッチ」ってどんなことができるの？

教育委員会事務局： タブレットに手書きした内容が電子黒板に反映されたり、黒板に書いたものがタブレットに反映されます。そのデータが蓄積されるので家庭に戻っての振り返りにも効果的です。また、電子黒板を使うことで、目と目を合わせた授業が展開できます。

【介護保険特別会計】

議 員： 元気パワーアップ教室の対象者の絞り込みはどのように行うの？

福祉課： 介護認定を取得している介護サービス未利用者が約80人いると想定しています。希望者の受入準備を進めていきます。

議員の活動報告します！

2月、3月、4月は主に次のような議員活動を行いました。

2月	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だより発行〔広報委員会〕 ・町村議会議員自治研究会〔8名参加〕 ・宮城県山元町議会常任委員会行政視察来庁〔議長〕 ・定例全員協議会〔全議員〕 ・広報クリニック〔広報委員会〕
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・県北中央町村議会議長会議員研修会〔10名参加〕 ・町村自治功労者表彰式〔議長〕 ・議会開会〔3月2日から10日まで〕 ・予算・決算委員会 ・文教厚生委員会（大子清流高校生との意見交換会） ・総務経済委員会町内視察（通学路などの支障木確認・おやしき学校）
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・広報委員会 ・男体山山開き〔議長〕 ・正副議長就任あいさつ〔正副議長〕 ・定例全員協議会〔全議員〕 ・石井県議会議長表敬訪問（茨城県議会） ・袋田観瀑トンネル照明改修竣工式〔全議員〕 ・森林・林業・林産業活性化促進議員連盟研修会（林業技術センター）

ピックアップ

■広報委員会研修（広報クリニック）

2月16日、東京都千代田区にある全国町村議会館で行われた「広報クリニック」という研修会に参加してきました。

この研修会は、全国の自治体で議会だよりの発行などを手がける担当者（議員や職員）が伝わりやすいテクニックを学ぶためのもので、私たち広報委員もたくさんの広報テクニック（伝え方）を学ぶことができました。

何かとお堅いイメージの議会広報ですが、今後は町民の皆様にとお柔らかくお伝えできるような広報紙づくりに努めてまいります。



■全国町村議会議長会自治功労者表彰の伝達

町議会議員として多年にわたり地方自治の振興発展に寄与した功績により、今回5名の方が全国町村議会議長会から自治功労者表彰を受けました。

3月定例会の開議前に伝達式を行い、菊池副議長から4名の方に表彰状が手渡されました。

被表彰者（議員在籍15年以上）

- ・鈴木 陸郎 議員 ・藤田 稔 議員
- ・齋藤 忠一 議員 ・大森 勝夫 議員
- ・金澤 真人 議員（欠席）



■トルコ・シリア地震救援金

令和5年2月6日に発生したトルコ・シリア地震の被害に対する支援として、大子町議会議員会から「トルコ・シリア地震救援金」を日本赤十字社へ寄託しました。

救援金は、議員会を代表して藤田議員会副会長と菊池副議長から日本赤十字社大子分区長の高梨町長に手渡しました。



■石井県議会議長を表敬訪問

令和5年4月14日、石井邦一県議会議員の第115代議長就任に伴う表敬訪問として、茨城県議会（茨城県庁）を訪問しました。

訪問の際には、現在茨城県が進めている大子町や県北地域に関連する事業の概要について、事業担当課からそれぞれご説明いただきました。

事業概要の説明を受け、各議員からは今後の展望や要望など、予定時間をオーバーするほどの活発な意見が飛び出し、事業に対する大きな期待感を示しました。



下記の事業等について説明をいただきました。

担当部署	事業説明等
県北振興局	県北振興チャレンジプランの概要 ほか
スポーツ推進課	奥久慈里山ヒルクライム ほか
土木部（道路管理課、道路維持課、河川課）	大子工務所管内における事業の概要 ほか
観光物産課	茨城デスティネーションキャンペーン ほか
林政課	第46回全国育樹祭関連事業 ほか



文教厚生委員会の活動報告 (大子清流高校生との意見交換会)

「あなたの思う未来の大子町を聞かせてください！」

この呼びかけに22名の大子清流高校生が名乗りをあげてくれました！

こうして実現した意見交換会は、議員と生徒で構成された3グループに分かれて「町の魅力と課題」「町の理想像」「理想を実現するために」を話し合い、最後にグループの意見をそれぞれ発表しました。世代間のギャップを感じさせない議員と若者の大子町に対する想いをご覧ください。

また、終了後に行ったアンケート結果と議員からのコメントも合わせてご覧ください！

町の理想像 (A班・B班・C班)

【どのような町になったらいいか】

●交通面

ほかの市町村へ移動できるバスの運行や高速道路をつくれれば、住民も観光客も便利。また、バスや水郡線の本数を増やす。騒音問題も交通事故の増加も懸念されるけど。

●若者に魅力的なまちづくり

人が集まれる施設があったらいいな。アウトドアスポーツ施設もいいね。空き家を利用したフリースペースもいいかも。ショッピングモールが必要。チェーン店やコンビニが欲しい。

●その他

学校に売店がほしい。水道からお茶がでたら便利。

町の魅力と課題 (A班・B班・C班)

【魅力】

- 自然・・・紅葉、観光地、水がきれい、温泉がある
- 食べる・・・鮎、りんご、しゃもなどおいしいものがいっぱい
- 町民・・・人がやさしい、治安がよい、人情深い
- まいん・・・学習スペースがある、みんなの憩いの場

【課題】

- 高速道路がない
- 空き家が多い
- お店や施設が少ない
- 水郡線の本数が少ない
- 高校・大学が少ない
- 読書のまちなのに本屋がない
- 少子高齢化が進んでいる
- 観光名所はあるけど、宿泊や移住する人は少ない
- 1年生でシガを知ってる人がいなかった (宣伝不足)

理想を実現するために (A班)

(目標) ショッピングモールをつくらう！

どうしたら実現できるか考えてみた。

●仲間を作ろう

中心はやっぱり若者だけど、住民全体の年齢層の意見も必要。建築の専門家の意見も聞いてみよう！

●企画会議をしよう！

話し合いの段階での議員参加はNG (先を見通しての意見だから)
→方向性がまとまってから意見をもらう。

●お金はどうする？

クラウドファンディングや町の企業にお願いする。

●交通手段などを考える

町民アンケートを行い、町に欲しいお店を聞く。土地(場所)を決める。



ショッピングモール「建てるよアピール」を大々的に行い、できるだけ多くの人を巻き込む。



理想を実現するために (B班)

●交通面

・高速道路をつくって、観光客を呼び込むための交通の活性化が必要！

●施設面

- ・空き家を利用したフリースペースを作ろう！
- ・アウトドアスポーツ施設を作ろう！

【課題を克服するための更なる問題点】

- 高速道路ができると騒音問題や交通事故の危険性が増えるのではないかな？



ドーム型の建築で解決できる！



逆に意識が高まり減るのではないかな！

(目標) アウトドアスポーツ施設、キャンプ、サウナなどがまとめてできるレジャー施設をつくらう！



大子町の理想の未来図に近づける



理想を実現するために（C班）

●交通面

- ・水郡線の本数を増やすことで、若者の利用が増えるし、高齢者も移動しやすい。

●若者に魅力的なまちづくり

- ・専門的なお店を増やす。
- ・アウトドアやレジャー施設などの若者の利用しやすい施設をつくる。
- ・空き家を利用したフリースペース。



↓
（理想）若者が地元に残りやすくなる、若者も高齢者も住みやすいまちづくり！

■具体的な解決策

- A | 乗合いタクシーや子育て支援住宅など、現在行っている政策をもっと充実させる。
- バスや水郡線の本数を増やす。
- 事業を実施しても、知らしてもらわなければ意味がないので、情報発信の仕方を考える。
- 若者（中・高生）に町のおこなっている政策を知ってもらうために、学校などの教育機関でもふれさせる。（大子町アプリなどの活用）

↓
今やっている事業や、これからやろうとしている事業をいかにして知ってもらうか（発信）が重要！！

■目からウロコのアンケート結果 ※一部抜粋

◇今回のような議員との意見交換会をどう感じましたか。

回答者 22 名：（「よかった」率100%）

- ・議員の考えや議会のことを知ることができた
- ・いろいろな意見が出ておもしろかった
- ・大子町について考える機会になった
- ・年齢や立場に関係なく意見が出し合えた
- ・議員が親しみやすく身近に感じた

◇高校生と議員との意見交換会を続けた方がよいと思いますか。

回答者 22 名：（「はい」率100%）

- ・大子町の若い人の意見を取り入れられるから
- ・町への理解が深まり、未来を考えるきっかけになった
- ・お互いのいろいろな意見を聞ける場であるから
- ・議会を身近に感じ関心を持つようになる
- ・若い世代のアイデアを発信して実現出来たらよい
- ・何度も話し合うことで意見が深まるから
- ・議員との交流を通して町政に対し理解を深められる

■言わずにはいられない議員の感想（コメント）

- ・具体的な話し合いがみんなが進められて本当によかった。これからも続けていきたい。
- ・これからも自分の意見をきちんと言える人生を歩んでください。
- ・この町を出る卒業生（3年生）が、改めて大子町の良さを感じられるように、残っている在校生（1, 2年生）とともに、大子町をアピールしていきたい。
- ・今議員をしている私達が10年後、20年後に皆さんが議員になるための環境づくりをしているので、次世代の議会と大子町をよろしく願います。
- ・自分たちの夢を描き、言葉にすることで形になって、自分の理想のふるさとが見えてくる。今回、そのような体験をしたわけですので、今後の大子町が楽しみです。
- ・大子町の魅力は、大子清流高校の皆さんの輝きです！！！！

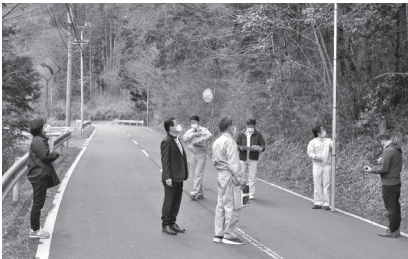
総務経済委員会の活動報告

3月17日、町内に点在する道路支障木の調査と昨年リニューアルしたおやき学校の視察を行いました。

■支障木調査

今回は、北西部側に位置する事前に把握していた5地点の調査を行いました。

調査には道路管理などを担当する建設課や教育委員会事務局の担当職員なども同行して、現在の状況を確認しました。



支障木とは

車道や歩道などの通行に悪い影響を与えてしまっている樹木のことです。張り出した枝が車に接触してキズついたり、枝が折れて歩行者がケガしたり、雪の被った竹が通行を妨げたりします。児童・生徒が使用する通学路は特に注意が必要です。

	調査した地区	路線
1	大生瀬地区	県道常陸太田大子線
2	北吉沢地区	町道
3	上野宮地区	県道大子那須線
4	槇野地地区	町道
5	左貫地区	県道上野宮下金沢線

今回の調査を踏まえて・・・

今回の調査地点では、すべて支障木になりうる状況が確認されました。

調査時点（3月17日）で芽吹きなどは見られませんでした。枯れ枝に当たりそうなトラックの通行も目撃しました。また、中学生が普段使っている通学路に鬱蒼（うっそう）とした区間があり、防犯の面からも伐採が必要であると感じた場所がありました。

今後は、南東部側の調査を行い、大子一円の状況を精査したうえで、道路管理者や樹木の所有者などに呼びかけていきたいと思えます。

■おやき学校視察

おやき学校に導入された「包あん機（火星人）」を視察して来ました。

この包あん機は、令和4年9月から稼働していて、小松支配人の話によると、製造の効率が抜群に上がり、一日の製造個数が1,000個から倍の2,000個にアップしたとのことでした。

また、昨年10月にオープンした「OyakiCafe 茶イム」を昼食も兼ねて見学。昭和の香りが漂う木造校舎の中で食べるランチは絶品でした。このカフェでは、昔ながらの学校給食も食べることができて、茶イムの1番人気のメニューになっているそうです。

ほかにも様々な工夫が随所に見られ、今まで以上に楽しみな施設となりました。



導入された包あん機で効率アップ



昭和の学校給食を再現したメニュー



季節感のあるプレートメニュー

と き あん議会の質問は今？！

今まで議会で質問してきた事業が、その後どのように行われているか、現在の状況をお知らせするコーナーです。

今回は、「しあわせ+（プラス）商品券」です。

これは物価高騰に対する経済支援として議会から町に要望したもので、令和4年第2回定例会（5月31日）の開会前に、金澤議長と菊池副議長（当時）が議会を代表して、高梨町長に要望書を提出しました。



第2回臨時会（7月6日）

しあわせプラス商品券事業を含む補正予算を可決
予算額：92,612千円



商品券の配布（8月16日）

- ・1人当たり5,000円分の商品券を15,637人に配布（各世帯へ一斉発送）
- ※8月以降に出生した24人には、出生届提出時に窓口で配布



利用開始（令和4年9月1日）



利用期限（令和5年1月31日）

多くの方にご利用いただいた結果は次のとおりです。

	換金実績	付記
商品券使用店舗数	225店舗	商品券の利用があった225のお店から換金の申請がありました。
使用割合	98%	商品券が使用された金額は8427万8千円でした。（事業者上乘支援額を含む）
大型店舗割合	63.8%	換金額に占める大型店の割合です。

令和5年第1回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

7名の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
学校適正配置のビジョン提示を	P.17	藤田 稔 議員
小中学校の適正規模、適正配置について まいん文化ホールでの買取り事業等について	P.18	川井 正人 議員
交流拠点施設整備の状況は 常陸大子駅に隣接する店舗について	P.19	須藤 明 議員
令和5年度のサイクルイベントは 大子清流高校魅力アップ事業の内容を問う	P.20	福田 祥江 議員
サイクリング事業のイベントは 大子駅での利便性に向けた環境整備を 遊休農地等活用の対策事業の推進を	P.21	飯村 剛 議員
水道事業の展望について 美術品の展示や広報手段について	P.22	大森 勝夫 議員
清流高校の生徒数確保の施策は 新年度の観光振興策は	P.23	菊池 富也 議員

一般質問とは・・・



定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進ちょく状況、将来における施策方針等をたずねます。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をたずねるとともに、町民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をすることも、議員の重要な権限です。

おうちで議会を視聴しよう!

大子町では議会中継を行っていますので、スマートフォンなどを利用して自宅で議会の様子を見ることができます。定例会や臨時会の様子を生中継するとともに、録画配信も行っていますので、是非ご利用ください。

※一般質問者ページのQRコードから、質問者を検索することもできます。



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから





町独自の子育て情報誌

町独自の子育て情報誌「げんき」は、子育て支援住宅の賃貸軽減、子育て支援住宅の家賃食費・保育料・幼稚園授業料・医療費などを無料とする施策があげられる。

町独自の子育て情報誌「げんき」は、子育て支援住宅の賃貸軽減、子育て支援住宅の家賃食費・保育料・幼稚園授業料・医療費などを無料とする施策があげられる。

町独自の子育て情報誌「げんき」は、子育て支援住宅の賃貸軽減、子育て支援住宅の家賃食費・保育料・幼稚園授業料・医療費などを無料とする施策があげられる。



町独自施策の情報発信で移住定住の促進を

問 学校適正配置のビジョン提示を

答 具体的に示せるようにしたい



藤田 稔 議員

料・医療費などを無料とする施策があげられる。

【藤田】 主な施策の無料化で町の負担額を伺う。

【福祉課長】 令和元年度10月から、国の施策により3

0歳から5歳、非課税世帯の無償化された。0歳から2

歳までの保育料として約2100万円となっている。

【教育委員会事務局長】 学校給食については、年間で3688万円になる。幼稚園の授業料は、年間で96万円になる。

【藤田】 国・県との連携した新たな施策はあるか。

【まちづくり課長】 茨城県移住支援金がある。町に申請が3件ほどある。

【藤田】 国や県と連携したスポーツ施設などの誘致は出来ないか。

【町長】 国際規格の基準を満たすような施設は造っていないが、災害復旧の大きな事業がある。次のステージで進めていきたい。

【藤田】 子育て住宅の入居状況を伺う。

【建設課長】 未就学児が55人、小学生が33人、中学生が15人、高校生が3人、合計106人となる。

【藤田】 子育て住宅に入ることができなかった世帯への対応を伺う。

【町長】 賃貸住宅に対する補助、新築の補助、新築住宅購入補助など利用して頂

きながら、町に住んでもらえる方を増加させていきたい。

【藤田】 平成30年度の町立小中学校適正配置等検討委員会において、大

町教育委員会に対して、児童・生徒にとって望ましい教育環境や学習環境を優先

に、保護者や住民の意見を聞きながら適正配置等を検討し、ビジョンを示すことが求められていた。令和5年度内に示せるのか伺う。

【教育長】 検討委員会をもって、その後のスケジュールなども具体的に示せるようにしていきたい。

【藤田】 燃料費高騰対策事業者支援金の申請状況、さらなる支援の考えを伺う。

【観光商工課長】 法人109件、個人事業主135件申請を頂いた。国で燃料及びガス価格の激変緩和対策が行われている。町でも当該対策の効果、継続性を検証しつつ、商工会との連携で、事業者の事業環境を踏まえ検討したい。

【藤田】 袋田観瀑施設改修の進捗よく状況及び年間を通したイベント等の開催を伺う。

【観光商工課長】 部材の調達に時間を要してすべての

作業を年度内に収めることは難しい状況である。年間

のイベントとして、季節ごとの光の演出をテーマに予定している。一般公募による演出イメージの作成企画なども考えている。

【藤田】 大子町独自の子育て支援策をはじめ、教育、観光等をまとめた情報発信の考えを伺う。

【まちづくり課長】 情報発信のデジタル化と共に、紙媒体など工夫をしながら情報発信の充実強化に努めていきたい。

町独自の子育て情報誌「げんき」は、子育て支援住宅の賃貸軽減、子育て支援住宅の家賃食費・保育料・幼稚園授業料・医療費などを無料とする施策があげられる。

問 小中学校の適正規模、適正配置について
答 検討委員会で方向性を取りまとめる



川井正人 議員

等検討委員会を進めていく過程で各学校の在校生の保護者、行政連絡区長、コミユニティセンター長、学校長との教育環境を考える意見交換会を実施したが、どのような意見が出されたのか伺う。

【川井】令和4年度以降の児童・生徒数及び学級数の推移について伺う。

【教育委員会事務局長】小中学校6校の合計数は令和4年度、児童数474名、37学級。令和5年度440名、32学級。そして令和10年度では308名、26学級の見込み。中学校4校の合計数は令和4年度307名、19学級。令和5年度281名、19学級。そして令和16年度では133名、11学級の見込み。

【川井】小中学校適正配置

【教育委員会事務局長】意見交換会においては、令和4年度以降の児童・生徒数の推移、学級数の推移、また公立小・中学校の適正規模に関する県の指針、国における適正規模・適正配置の考え方について説明をしたのち、出席者からいろいろな意見をいただいた。3月14日に開催予定の検討委員会ではこれらの意見も踏まえて学校の適正配置・適正規模等について協議をする予定である。

【川井】現在、中学校での

部活動は選択肢が限定されている。部活動の選択肢を広げる方策はあるのか伺う。

【教育委員会事務局長】運動部の団体種目は、各学校において競技人数を下回っている場合は、複数校により合同チームを編成して出場することが可能である。また、県や国から、令和5年度初めから令和7年度末にかけて段階的に土日の部活動を地域へ移行することを目指すことが掲げられている。しかし、指導者や送迎の問題など多くの課題があるため、地域移行への時間はかかるものと考えている。今後検討委員会などを立ち上げて考えていく。

【川井】学校にないなら、大子町の子供たちが希望すれば全員が入れる、官民で

運営するスポーツアカデミーなどを設立して、水戸ホーリーホックや茨城ロボッツなどと連携した部活動の在り方などは考えられないか、町の考えを伺う。

【教育委員会事務局長】大子町は今年度、水戸ホーリーホックのホームタウンになったことで、サッカー教室やイベント等の連携した活動が可能になるものと考えている。アカデミーに関しては現在、教育委員会では創設、運用を含め高いハードルであると認識しており、現行の水戸ホーリーホックや茨城ロボッツとの連携を良好に維持していきたいと考えている。

まいん文化ホールでの買取り事業等について

【教育委員会事務局長】開催する内容によって集客力に大きく影響があるため、事業全体を評価することは難しい。買取り事業については廃止するという方向で考えているが、町民が制作したステージについては、要望等を聞きながら今後検討したいと考えている。

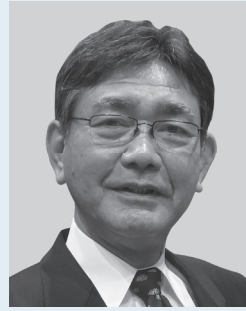
【川井】大子町文化福祉会館自主運営事業運営委員会が行ってきた買取り事業についての評価と今後について伺う。



町の文化の発信地、スターと会える憧れのホール

問 交流拠点施設整備の状況は

答 令和6年度春に建物が完成する



須藤 明 議員

体としては木造。今後のスケジュールについては、基本設計を3月中に完成し、

実施設計については次年度へ繰り送る。その後、建設

工事に入り、令和6年度春には完成するスケジュール

で進めている。予算規模については、全体で1億20

00万円程度の予算規模となっている。

【須藤】この交流拠点施設は多くの方が利用できる施設である。賑わいをつくる

ためには多くの方に対応できるような体制づくりとそこ

に在る人材の確保が必要不可欠ではないか。町の考

えは。

【まちづくり課長】今後の体制については、間もなく基本設計が完成する予定で

ある。基本設計が出来次第管理体制等についても早速

【まちづくり課長】建物全

に検討を進めていく考えである。

【須藤】管理体制については、ある程度予想も含めた

中で絞り込んでいくのか。

【町長】想定としての選択肢はある。そういう中で、

いろんなワークショップの中で町民の皆さんの意見を踏

まえて建設をしていくこととなるので選択肢に見合

うような個人若しくは団体

【まちづくり課長】この度の駅前店舗の閉店といった

情報については、非常に残念であると感じている。事

態の動向をしっかりと注視してまいりたい。

【須藤】先の全員協議会において、JRから相談があ

ったときは検討したいとの説明があったが、今

そういうところで円滑に管理してもらえる方を人選していきたい。

常陸大子駅に隣接する店舗について

【須藤】常陸大子駅に隣接する店舗2店舗が2月末に

閉店されたと聞いている。まちの玄関である常陸大子

駅前エリアの賑わいが失われることは町としての魅力

が失われることにもつながる。町はこの閉店について

どのような感想をお持ちか。

【まちづくり課長】この度の駅前店舗の閉店といった

情報については、非常に残念であると感じている。事

態の動向をしっかりと注視してまいりたい。

【須藤】先の全員協議会において、JRから相談があ

ったときは検討したいとの説明があったが、今

でも相談があったときは検討する考えはあるのか。

【まちづくり課長】JR東日本については、今後の

店舗活用について町と連携して協議を行っていただきたいとの申し出をいただいている。また、JRバス関東についても、4月以降の利活用について協議を行って

【須藤】協議を行っていくということだが、ある程度の方向性はお持ちか。

【町長】今の施設が最終的になくなったという事実を確認した上で、しっかりと協議を行っていく。

【須藤】今秋行われるデスティネーションキャンペーンは千載一遇のチャンス。町として店舗継続を含め前

向きに考えていかなければならないと思う。町の考えは。

【町長】お客さんが大子駅に降りたときのことを想像すると、出来るだけ早急に

営業再開に向けてJR側の考えをお聞きしながら協力

していきたい。



営業再開が望まれる常陸大子駅に隣接する店舗

問 令和5年度のサイクルイベントは
答 初心者、女性向けのイベントを予定



福田祥江 議員

元の資料で、特典獲得人数は23人であった。どのような広告宣伝を行ったのか。

【観光商工課長】 特設ホームページの作成、観光協会、町のアウトドアサイトにリンクを貼ると共に、町及びJR水郡線のSNSで広報した。パンフレットを作成し、町内観光施設、水郡線駅構内へ設置、JR主催イベントでの配布を実施した。

【福田】 ホームページは興味を持った人が能動的に見ないと情報が届かない。SNSなどを使い、繰り返し宣伝していく事が必要ではないか。

【観光商工課長】 今後に関しては、繰り返し発信していくなど、注意しながら広告宣伝を行っていく。

【福田】 令和5年度予算にカフェライドイベント開催業務とあるが、どのようなのか。

【観光商工課長】 主に初心者の方、女性をターゲットに、サイクリングをしながらカフェを巡るイベントを予定している。

大子清流高校魅力アップ事業の内容を問う

【福田】 近年の少子化傾向

もあり、今年の県立高校の入試志願状況を見ても、全日制の志願倍率は0・99倍と1倍を切っている。令和5年度予算では、公設塾、通学支援など大子清流高校の魅力アップのための施策が計画されている。地域みらい留学プラットホーム参画とあるが、現在、全国募集は農林科学科だけだが、総合学科も含まれるのか。

【教育委員会事務局長】 現時点では茨城県立高等学校入学者選抜実施規則により農林科学科のみとされている。ただ、県の規定の改定等が可能であれば総合学科も対象にしたので、大子清流高校と連携を図りながら県に対して働きかけをしていきたい。

【福田】 部活動支援の予算がなくなっているが大丈夫なのか。

【まちづくり課長】 部員数の減少により配分が難しくなっていたので、通学支援に充てる。

【福田】 遠方の上位の大会

出場への援助は。
【まちづくり課長】 高校や保護者からの要望により、可能な限り対応していきたい。

【福田】 大子町の歴史などを学んで、町外の世界を見たり、資格を取ったりして大子町に帰ってくるというようなまちづくりも同時に必要だと考えるがいかがか。

【町長】 大子町町長として、まず最優先は大子町の高等学校を守っていくのが最優先の使命だと思っている。



魅力アップ事業が行われる大子清流高校

【観光商工課長】 レベル別に5コースを設定し、観光施設、飲食店などのスポットを全て通過することにより景品が入手できるイベントで、91名が参加した。

【福田】 パンフレットでは、町内のお店や観光スポットの案内にもなっていて期待していた。しかし手



プレ茨城デスティネーションキャンペーンで行われたダイゴライドクエスト

問 サイクリング事業のイベントは

答 八溝山頂を目指すレースを予定



飯村 剛 議員

ンの活用促進、観光施設、飲食店等の周遊に効果があった。

【飯村】今後の企画予定は。

【観光商工課長】八溝山頂を目指す「ヒルクライムレース」、女性をターゲットとした「カフェライド」や初心者から楽しめる「フォトサイクリング」の開催を予定している。

【飯村】防災道の駅の観光交流施設の整備ではサイクリング関連など、どのような構想を巡らせているのか。

【観光商工課長】サイクルステーションを移設すること

「ツール・ド太子」、町内各所を巡る「ダイゴ・ライド・クエスト」を開催した。奥久慈ヒルクライムルートの知名度向上や水郡線サイクルトレイ



八溝山の鳥居から山頂まで路面清掃を行った

で駅から近くなり水郡線とレンタサイクルを活用した町内周遊につなげる。また、役場窓口、FMだいが、観光案内所、カフェ・フードコート、休憩所、足湯など町民ワークショップでの意見等を考慮し検討する。

太子駅での利便性に向けた環境整備を

【飯村】JR太子駅では下り線ホームまで跨線橋こせんきょうの階段を上り下りして移動している。

高年齢者にとって大変であり、またサイクルトレイン利用者や観光客などが自転車やキャリアバッグを重

そうに担いで移動しているのが見受けられる。スムーズに通行できる整備をJR側に依頼してはいかがか。

【まちづくり課長】水郡線利



重い荷物を抱えて、跨線橋の階段を上り下りして移動しているのが現状

用促進会議を通じて利便性の向上に向けた環境整備や対応策を要望していく。現在スイカ対応駅、サイクルトレイン乗降可能駅の拡大など要望活動も行っている。

遊休農地等活用の対策事業の推進を

【飯村】遊休農地等を有効活用していくことは大切である。耕作可能な農地はどれくらいあるのか。

【農林課長】1万3399筆、約681ヘクタールとなっている。

【飯村】遊休農地等活用事業を行う上での補助金は。

【農林課長】新規に対して20

アールあたり10万円、継続事業に対しては5万円を上限額としている。

【飯村】太子地域伝統の「楮」や奥久慈特産の「花枝物」など栽培を行っている町民グループがある。伝統を絶やさず豊かな土地を有効活用していくため頑張っている。このような団体を増やすことも含め町として遊休農地等活用をどのように推進していくのか。

【農林課長】広報誌やホームページでの周知、景観整備活動の紹介を各種の生産者団体の協力をもらいながら認定農業者等に当該制度を利用してもらえるよう推進していく。



楮の収穫を行う町民グループ

問 水道事業の展望について

答 安定供給への財源確保に努める



大森勝夫 議員

ンに当てはめた場合の利点や不利益などの検証は進めているのか。

【水道課長】 水道法改正により昨年2月に茨城県水道ビジョンが策定された。30年後に県内水道の一元化を掲げている。当初10年の目標として、県北・県中央・

【大森】 大子町の水道普及率は99・3%と県内でも高い水準である。普及が早かったゆえに使用年数が長く、老朽管更新にかかる今後の財源負担に不安を感じる。茨城県では水道ビジョンを定め、水道事業の広域連携の構想を示している。長期的な人口減少による水道事業の縮小を想定し、その対応策を提唱しており、今のところ強制的ではない。今後の大子町の水道事業の展望を、広域連携を提唱する茨城県の水道ビジョ

金制度がある。大子町の老朽化した水道管の修繕財源に適応できないか。

【水道課長】 大子町の水道管の総延長は約334キロ。その半分以上の58%が法定耐用年数を超えた老朽管であり更新に努めている。老朽管路更新の財源に

【町長】 町の管路更新の課題は把握している。安定した水の供給に向けた財源確保は重要であり、広域事業化への流れの中で、町民への恩恵がでるよう努力をしていく。

美術品の展示や広報手段について

【大森】 町所有の美術品で山岡草氏の和紙人形がある。有効に活用すべきと思うが、親族間との取り決めで制約があると聞いた。どのような制約なのか。

【教育委員会事務局長】 作品を遺族から寄贈された際に3つの条件が提示された。作品展示を一カ所とし、持ち出しを禁ずる。移動展覧会は行わない。作品の撮影を禁じ、撮影済みのスライドを活用して記事編集をおこなう。などである。

【大森】 積極的な活用には支障となる制約と感ずる。改善に取り組みないのか。

【教育委員会事務局長】 和紙人形の今後を協議する会議を令和5年度に予定しており、親族の意見を伺う機会も設けていきたい。

【大森】 来場者の多い新役場庁舎に隣接す

る、大子町研修センターの一室を美術館とし、町内の美術展示場の広報サテライト会場や芸術家の企画展示として機能させられないか。

【まちづくり課長】 研修所としての用途が優先となることができる。だが、多目的に利用できる教室での美術展であれば検討はできると考



町が所有する芸術作品の自由な広報ができるよう願う

問 清流高校の生徒数確保の施策は

答 清流高校魅力化事業を推進する



菊池富也 議員

柱とした清流高校魅力化事業を実施する。

【菊池】清流高校への入学希望者を増やすため、町内の中学生以外も対象とすることか。また、町の考える魅力ある高校とは。

【教育委員会事務局長】町内の中学生、町外、県外と全国規模で考えている。魅力ある高校とは、特色のある学習内容、課外活動のカリキュラムによる進路実績の充実や様々な形で地域と関わり地域に愛される高校を考えている。

【菊池】事業の期間と数値目標は。

【教育委員会事務局長】1年目は、公営塾の立ち上げ、関係者との連携作り、地域みらい留学プラットホーム参画による全国募集の強化。2年目は、清流高校と地域住民、町内企業、中学生、

清流高校卒業生等との連携強化を図る。3年目は、高校の学習カリキュラムの改革、公営塾の対象を中学生

にも拡大して清流高校への進学率の向上を図る。数値目標は、町外からの入学者を現在の15名から29名に、また、町内中学生の清流高校への進学率を38・1%から54・1%に、卒業生の地域活動参画人数を11名とする等である。

新年度の観光振興策は

【菊池】新年度の予算に観光の町としての自然保護の施策や景観の改良、観光客への思いやり施策が少ない。道路の整備や景観の美化について、どのように考えているのか。



景観が整備された国道 118 号

【建設課長】道路の管理は通行の安全確保を第一に実施している。その効果として、景観が良くなる側面もある。限られた予算の中で、その効果が得られるよう努力する。

【菊池】観光ボランティアに町内の観光案内を依頼しているが、人数が少なく苦慮していると聞いている。町は、地域にあるコミュニティセンターと連携した観光案内はできないものか。

【観光商工課長】袋田コミュニティセンターには、観光ガイドブックを設置している。また、下小川は、男体山周辺の登山者向けの登山マップを設置している。コミュニティセンターと観光のタイアップ

については、地域のためのセンターと考えているので観光案内と連携すべきものと考えていない。町は、観光協会や観光案内施設の充実を図っていく。

【菊池】町有地の整備と観光は一体ではないのか。町内に点在する町有地を整備すれば観光にも役立つと考えるが。

【観光商工課長】観光地はいままである所のブラッシュアップを進めてきた。新たな町有地の活用で、ポナインの森にマウンテンバイクのコースを作る計画がある。それに伴う道路の整備もあるが、効果については検証する必要がある。



景観が整備された役場入口

— 大子っ子の夢、応援しています！ —

わくわく わたしの夢



私の将来の夢は保育士になることです。幼稚園の頃の担任の先生は年少、年長がどちらも同じでした。その先生はいつも笑顔でとても優しくしてくれました。私は先生のおかげ保育士になる夢をもつことができました。保育士は、0歳から小学校就学前の子どもが対象で、とてもやりがいのある仕事です。6年間という小学校と同じ時間を保育園で乳児保育と幼児保育を行うことができます。私は乳児と幼児のどちらも好きなのでがんばりたいと思います。様々な年齢の子どもを預かる大切な仕事のため、今から知識を身につけていきたいです。そして立派な保育士になれるように勉強面や生活面をがんばりたいです。



大子中学校3年
もりやま あみ
森山愛実さん

四季の便り

桜の季節が駆け足で過ぎて行き、今はつつじが見ごろの季節を迎えています。山々の萌ゆる緑とつつじの燃えるような色合いが、不思議とマッチしていて人々の目と心を楽しませてくれています。

写真の風景は、西金のつつじヶ丘で撮影したものです。(撮影日 4月24日)



FM放送のお知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放

送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。

放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。



6月定例会開催予定

- ▽5月31日(水) 開会
 - ▽6月1日(木)
 - ▽4日(日) 自宅審議
 - ▽5日(月) 一般質問
 - ▽6日(火) 一般質問
 - ▽7日(水) 一般質問
 - ▽8日(木) 逐条審議
- 閉会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会広報委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 福田祥江 |
| 副委員長 | 須藤明 |
| 委員 | 飯村剛 |
| 委員 | 川井正人 |
| 委員 | 菊池靖一 |
| 委員 | 齋藤忠一 |

あとがき

町議会議員になり3年、コロナ禍により研修会の中止が続いていましたが、今年2月、私が議員になって初めて「町村議会広報クリニック」が開催され参加することができました。ほかの町村議会の広報誌を見て講義を受けることができ、大変刺激を受けました。今後、更に町民の皆様に関心しやすい誌面作り、分かりやすい工夫に活かしたいと思っております。

私たち議員の任期は一年を切っています。残りの日々で何ができるのかを自問自答しながら、任期満了の日まで町政をしっかり見つけ、町民の皆様へ寄り添いながら活動をしていきたいと思っております。

(福田祥江)